

<高等部目標>

高等部の教育課程に基づく教育活動を推進し、生徒一人一人の個性や能力を最大限に生かしながら、より豊かな社会生活を主体的に営む上で必要な知識・技能・態度を育む。

○重点目標

- ①生徒が生涯を通じて取り組める活動を見出し、他者と関わりながらより豊かな生活を営もうとする態度を育てる。
- ②主体的・対話的で、深い学びの視点に基づく授業を日々実践し、生徒が自ら考え、学んだことを現在および将来の生活に生かすことができるようにする。
- ③保護者や関係機関等と連携した進路指導を充実させ、生徒が希望や夢の実現に向けて行動できるようにする。

○具体的方策

重点目標①に対して

- ・ICT機器の活用等を通して、生徒が学ぶことや自己を表現すること、他者と関わることの楽しさを実感し、将来にわたって豊かな生活につながる取組を行う。
- ・生徒が有している能力や特性を的確に把握し、文化活動やスポーツに生涯取り組むための手だてや工夫を明らかにする。

重点目標②に対して

- ・育成を目指す資質と能力を踏まえた指導と評価を意識して授業を実践する。
- ・生徒が自己を肯定的に捉えることができるように、自分自身の課題に気付いたり、他者との相違について考えたりする場面を設定する。
- ・教師とのやりとりや生徒同士の対話を意図的に取り入れ、生徒が思考・判断・表現をしながら課題解決へとつなげることのできる授業を展開する。

重点目標③に対して

- ・生徒が自己の役割を理解し、様々な情報を取捨選択・活用しながら卒業後の生活を具体的に想定できるようにする。
- ・生徒や保護者の進路に対する考えや思いを踏まえ、生徒一人一人の進路希望を実現するための段階的・計画的な指導・支援を行う。